

お知らせ

令和7年度 総会ならびに敬寿会の開催について

新緑の季節をむかえ、新茶の香りも芳しいころとなりました。

会員の皆様には、ご健勝にお過ごしのことと存じます。

このたび、令和7年度 静岡県立静岡城北高等学校同窓会芙蓉会総会ならびに 高25回生敬寿会が令和7年5月11日（日）に開催いたしました。

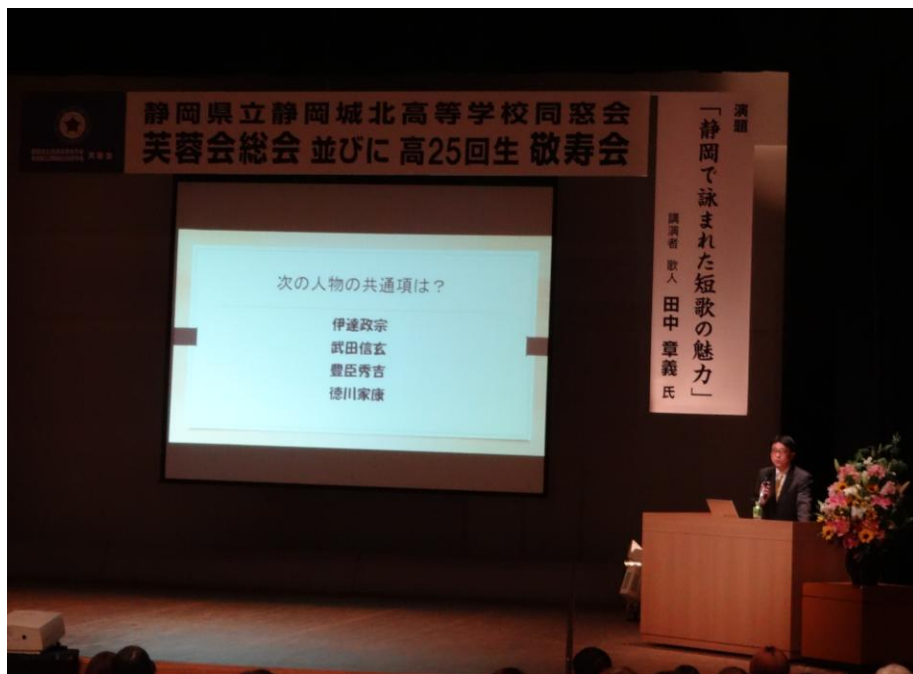
静銀ホールでの開催も5回目となりましたが、皆様のご理解とご協力が無事に、開催することができました。同窓会の歌や校歌を皆さんで歌うことができ、心をひとつにしました。

ご出席は一般の方123名、敬寿の方67名、来賓等9名で199名でした。

来賓として母校の渡辺校長先生、副校長の塚本先生、東京支部からは内田支部長様、関西支部からは齋藤支部長様を、お迎えすることができました。

また、新入会員は4名が参加してくださいました。

敬寿会では、変形行進の曲に合わせて、25回生がステージに登場すると、自然に手拍子が湧き上がりました。さらに、25回生の皆様が変形行進での手の交差などを披露してくださり、会場は大きな拍手につつまれました。



第3部の講演会では、静岡ご出身の歌人：田中章義様から「静岡で詠まれた短歌の魅力」と題してお話いただきました。

歌人の作品だけでなく戦国時代の武将たちが詠んだ「静岡」の歌のお話をうかがい、時のたつのを忘れて心豊かな時間を過ごすことができました。

お話に登場した今川義元公、徳川家康公、武田信玄公、さらには遠く「仙臺」（[新字体](#)で「仙台」）からも静岡を詠んだ伊達政宗公・・・と、美しい眺めや風土に目を向けた武将たちの思いに心をはせて、興味深く拝聴いたしました。